

支援学校中学部 美術

解答についての注意点

- 1 問題は、特別支援教育に関する大問 **1**、教科等に関する大問 **2** ～大問 **4** の各問題から構成されています。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1**、**2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **1**、**2** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、通知文の名称等や、文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

Ⅰ 特別支援教育に関する近年の動向等について、次の（１）～（１０）の問いに答えよ。

（１）次の各文は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）「第Ⅰ章 総則 第３節 教育課程の編成 ３ 教育課程の編成における共通的事項 （２） 授業時数等の取扱い」の記述の一部である。正しい内容のみをすべて挙げている組合わせはどれか。Ⅰ～５から一つ選べ。解答番号は

ア 各教科等（中学部においては、特別活動を除く。）や学習活動の特質に応じ効果的な場合であっても、夏季、冬季、学年末等の休業日の期間は学校休業日に位置づけられているため、これらの授業を行うことはできない。

イ 総合的な学習の時間における学習活動により、特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動をもって相当する特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替えることができる。

ウ 特別活動の授業のうち、小学部の児童会活動、クラブ活動及び学校行事並びに中学部の生徒会活動及び学校行事については、それらの内容に応じ、年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てるものとする。

エ 小学部又は中学部の各学年の自立活動の時間に充てる標準授業時数は、児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を考慮したうえで、上限35時間までの範囲内であれば定めることができる。

- Ⅰ アーイ
- Ⅱ アーウ
- Ⅲ イーエ
- Ⅳ アーエ
- Ⅴ イーウ

- (2) 次の文は、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省）「第6節 学校運営上の留意事項 3 特別支援教育に関するセンターとしての役割」の記述の一部である。空欄ア～エに当てはまる語句の組合わせとして、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

特別支援教育に関するセンター的機能に関しては、平成17年12月の中央教育審議会答申「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」において、①小・中学校等の教師への支援機能、②特別支援教育等に関する 機能、③障害のある幼児児童生徒への 機能、④医療、福祉、労働等の関係機関等との連絡・調整機能、⑤小・中学校等の教師に対する研修協力機能、⑥障害のある幼児児童生徒への施設・設備等の提供機能の6点にわたって示している。

また、中央教育審議会答申においては、特別支援学校における特別支援教育 は、校内における取組だけでなく、例えば、小学校や中学校等に在籍する児童生徒に対する 指導を行ったり、特別支援学校の教師の専門性を活用しながら教育相談を行ったりするなど、域内の教育資源の組合わせ（スクールクラスター）の中で、 としての機能を発揮していくことが求められるとしている。

	ア	イ	ウ	エ
1	相談・情報提供	指導・支援	支援員	直接的な
2	相談・情報提供	指導・支援	コーディネーター	巡回による
3	指導・支援	相談・情報提供	コーディネーター	直接的な
4	指導・支援	相談・情報提供	支援員	巡回による
5	相談・情報提供	指導・支援	コーディネーター	直接的な

(3) 次の各文は、「障害者差別解消法【合理的配慮の提供等事例集】」(令和5年4月 内閣府障害者施策担当)における「1. 合理的配慮の提供事例」及び「2. 環境の整備事例」の記述の一部である。教育場面における合理的配慮の提供事例の内容のみをすべて挙げている組み合わせはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

3

ア 視覚障害があり、後で復習するときに使いたいのので、授業を録音させてほしいという生徒に対して、授業の録音は禁止されているが、障害の状況等を踏まえ、録音機器の使用を認めることとした。

イ 聴覚障害があり、ゼミ形式の授業で活発な議論が交わされたときに、議論のやり取りのフォローをしてほしいという生徒に対して、筆談などにより議論のやり取りを素早く伝えるのは困難であったことから、手話通訳者と派遣契約をし、授業の補助員として配置した。

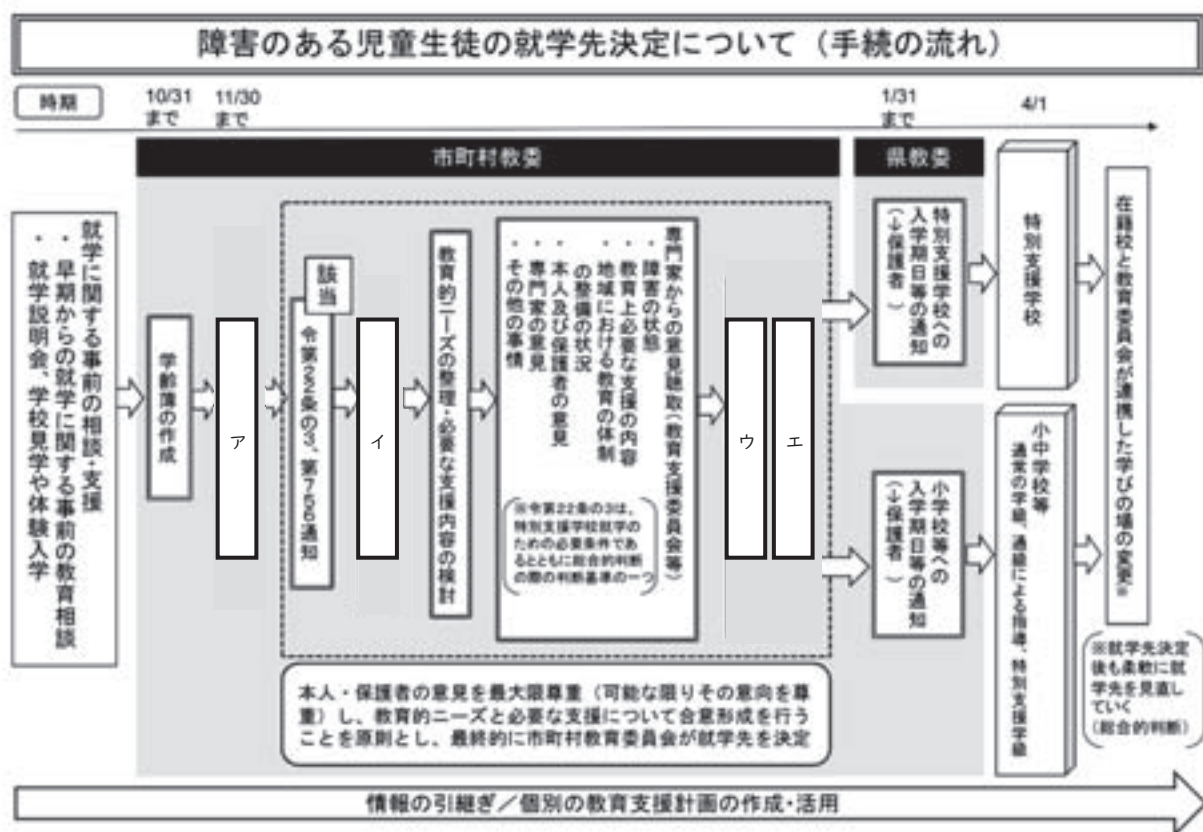
ウ 下肢に不自由さがあり歩行に困難がある。また、長距離の移動では、疲れやすいため、学内の教室移動において、配慮してほしいという生徒に対して、本人と相談のうえ、教室がある建物の玄関付近にフラットなベンチチェアを複数設置し、休憩してから教室へ移動することができるようにした。

エ 知的障害があり、学習活動の内容や流れを理解することが難しく、何をやるのか、いつ終わるのかが明確に示されていないと、不安定になってしまい、学習活動への参加が難しくなる生徒に対して、本人の理解度に合わせて、実物や写真、シンボルや絵などで活動予定を示した。

オ 精神障害があり、講義に集中することが難しい生徒に対して、生徒の希望と症状の診断結果を考慮して、一部の講義にチューターを付けて支援できることとした。

- 1 イーエーオ
- 2 アーエ
- 3 アーウーエ
- 4 イーオ
- 5 アーイーエーオ

- (4) 次の図は、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(令和3年6月 文部科学省)における、就学先決定の手続きの流れを示したものである。空欄のア～エに当てはまる語句の組合わせとして、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 4



	ア	イ	ウ	エ
1	保護者の意見聴取・意向確認	市町村教育委員会による総合的な判断	合意形成と就学先決定	就学時健康診断
2	市町村教育委員会による総合的な判断	就学時健康診断	保護者の意見聴取・意向確認	合意形成と就学先決定
3	就学時健康診断	市町村教育委員会による総合的な判断	合意形成と就学先決定	保護者の意見聴取・意向確認
4	保護者の意見聴取・意向確認	合意形成と就学先決定	就学時健康診断	市町村教育委員会による総合的な判断
5	就学時健康診断	保護者の意見聴取・意向確認	市町村教育委員会による総合的な判断	合意形成と就学先決定

- (5) 次の文は、「教育の情報化に関する手引（追補版）」（令和2年6月 文部科学省）における「第4章 教科等の指導におけるICTの活用 第4節 特別支援教育におけるICTの活用」の記述の一部である。空欄ア～エに当てはまる語句の組合わせとして、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1. 特別支援教育におけるICTを活用した教育の充実

(2) 特別支援学校における情報教育の配慮点

特別支援学校では、各教科及び高等部に設けられた教科「情報」（知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においては、知的障害者である児童生徒のための各教科及び高等部において、必要に応じて設けることができるとされている「情報」）を要として情報教育を展開していくことになるが、障害による 、本来の学習内容に集中できる を整えるとともに、個々の児童生徒に応じた具体的な支援を考える必要がある。また、学習を進めるに当たって、個々の障害の状態や特性や 等を考慮して、適切な 、指導上の工夫が必要である。

	ア	イ	ウ	エ
1	操作上の困難を補い	媒体	社会経験	補助用具の選択
2	操作上の困難を補い	環境	社会経験	補助用具の選択
3	心理的な不安定さを軽減し	媒体	学習状況	使用頻度の設定
4	心理的な不安定さを軽減し	媒体	学習状況	補助用具の選択
5	操作上の困難を補い	環境	社会経験	使用頻度の設定

(6) 次の各文は、「障害者基本計画（第5次）」（令和5年3月 内閣府）において示されている、
（4）生涯を通じた多様な学習活動の充実の記述の一部である。内容として、適切でないものは
どれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 放送大学において、テレビ授業への字幕の付与や点字試験問題の作成など、障害のある学生への学習支援を一層充実する。
- 2 障害の有無にかかわらず、全てのこどもたちの成長を地域全体で支える社会が実現できるよう、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、こどもたちの多様な学習・体験活動等を充実する。
- 3 学校卒業後の障害者が社会で自立して生きるために必要となる力を生涯にわたり維持・開発・伸長するためには、障害者の各ライフステージにおける学びを支援するよりも、義務教育における学びを支援する必要がある。
- 4 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（令和元年法律第49号）及び「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」（令和2年7月策定）等を踏まえ、公共図書館、学校図書館、国立国会図書館、視覚障害者情報提供施設等が連携を図りながら、障害者の読書環境の整備を促進するとともに、図書館サービス人材等の育成を図る。
- 5 障害者が生涯にわたり教育やスポーツ、文化などの様々な機会に親しむことができるよう、訪問支援を含む多様な学習活動を行う学びの場やその機会を提供・充実する。

(7) 医療的ケアの実施要件として、「大阪府立支援学校における医療的ケアの実施についてのガイドライン」(令和2年10月(令和5年3月 第二次改訂) 大阪府教育委員会)に照らし、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 主治医の指示があること。
- 2 学校医及び校長・准校長が、医療的ケアを適切に実施できる環境について、整備されていると判断していること。
- 3 養護教諭または養護助教諭の管理下であること。
- 4 保護者の同意があること。
- 5 保護者の依頼が前提にあること。

(8) 次の各文は、「改訂第3版 障害に応じた通級による指導の手引 ●解説とQ & A●」(文部科学省 編著)の記述の一部である。通級による指導の内容として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、組合わせとして、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

8

- ア 他校通級の形態の一つとして、特別支援学校小学部・中学部・高等部に、通級指導教室を設置することはできない。
- イ 他校通級をする場合、通学に要する時間は通級による指導の時間として含むことはできない。
- ウ 「通級による指導」とは、大部分の授業を小・中・高等学校の通常の学級で受けながら、一部、障害に応じた特別の指導を特別な場（通級指導教室）で受ける指導形態で、障害による学習上又は生活上の困難を改善し、又は克服するため、特別支援学校学習指導要領の「自立活動」に相当する指導を行う。
- エ 通級による指導の対象とすることが適当な児童生徒の判断については、当該児童生徒について特別の教育課程を編成するかどうかの判断であることから、基本的に教育委員会が行う。

	ア	イ	ウ	エ
1	×	○	×	○
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	○	○	○	×
5	×	×	×	○

- (9) 次の文は、「第2次大阪府教育振興基本計画」(令和5年3月 大阪府)における第5章 基本方針(施策の大綱)の記述の一部である。空欄ア～エに当てはまる語句の組合わせとして、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

基本方針6 学びを支える環境整備

重点取組⑳ | 施設等の計画的な整備の推進

▶ 在籍者数の増加にあわせた支援学校等の環境整備

支援学校在籍者数の増加による教室不足の解消と、国が定める「」に沿うようにするため、将来にわたる を踏まえ、子どもたちの障がいの状況に応じた、支援学校の新設や既存の学校での増築等を計画的に実施するとともに、適切な環境整備を図ります。また、 が必要な子どもたちの学習機会を保障するため、通学に係る支援や、学校への の配置等の体制整備を進めます。

	ア	イ	ウ	エ
1	特別支援学校設置基準	公教育の役割	合理的配慮	専門人材
2	特別支援学校施設整備指針	在籍者数の推計等	合理的配慮	専門人材
3	特別支援学校施設整備指針	公教育の役割	医療的ケア	スクールサポートスタッフ
4	特別支援学校設置基準	在籍者数の推計等	医療的ケア	専門人材
5	特別支援学校設置基準	在籍者数の推計等	医療的ケア	スクールサポートスタッフ

(10) 次の各文は、「みつめよう一人ひとりを」(平成31年1月改訂 大阪府教育センター)に照らし、「第2章 障がいの特性理解と指導・支援の在り方 3 知的障がいのある子どもの教育 (2) 指導・支援のポイント」の記述の一部である。内容として、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 子どもの行動を理解するには、その行動が起こる因果関係や背景要因等を詳細に調べ、その内面を読み取ることが大切です。情緒不安定になる原因は、本人の内的要因から生じていることが多いため、注意深く観察することが必要です。また、不適切な行動をどうやめさせるかよりも、望ましい・新しい行動を増やしていくという視点をもつことも大切です。
- 2 子どもの良さと課題の両面を捉えて、個別の指導計画を作成します。この計画は、集団指導の中での配慮や個別的な指導も含み、一人ひとりの教育的ニーズに応じて作成します。
- 3 知的障がいのある子どもは、言語発達の遅れを伴うことがあります。学校園生活全体において、視覚情報を提示するなど、わかりやすい指示等を工夫することが大切です。また、表出言語だけに依存せず、身ぶりや手ぶりを使うなど、多様な手段でコミュニケーションする力を育てることが大切です。
- 4 可能な限り自分の意思で選択・決定し、行動できるようになることは、自立に向けた重要な力になります。子どもが自己選択・決定できる場面設定や意思を表出する手段を配慮・支援していくことが大切です。具体的には子どもの特性に応じて、絵や写真カードで選択・意思表出できるように練習していくこと等が考えられます。
- 5 指導を効果的にするために、子どもが興味・関心を持つような教材・教具を活用することが大切です。又、子どもの実態に応じた適切な教材を作成することがより有効です。

2 (1)～(6)の問いに答えよ。

(1) 版画の表現技法について、次の問いに答えよ。

次のA～Dと、に示されたその「制作方法」ア～エの正しい組み合わせとして、最も適切なものを1～4から1つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。 出典： 600dpi パブリックドメイン美術館 https://600dpi.net/hasui-kawase-0003633/	著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。 出典： ロートレック 《ジャンヌ・アヴリル》	著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。 出典： Tokyo Museum Collection (ToMuCo) －東京都立博物館・ 美術館収蔵品検索 https://museumcollection.tokyo/works/6381738/	著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。 出典： Tokyo Museum Collection (ToMuCo) －東京都立博物館・ 美術館収蔵品検索 https://museumcollection.tokyo/works/6383012/
A	B	C	D

「制作方法」

- ア 木や金属の枠に、絹などの細かい孔のあいた布（紗）を張って版とし、図柄以外の部分の孔を塞ぐ。この版の上にインクをのせて押し出すと図柄の部分の孔を通して、インクが図柄の形で用紙に転写される。
- イ 水と油の反発作用を利用して製版・印刷する版画で、版を彫ることなく、描いたままに再現できる。凹凸が少なく、現在の印刷物の大半がこの原理を応用したオフセットで刷られている。
- ウ スケッチを版木に転写し、線に墨入れをする。刷り重ねのための見当を入れ、彫刻刀で主版を彫り、黒インクで刷る。主版に彩色し、色数や重色を考えて色彩計画をする。薄めの紙に油性のインクで刷りバレンで加圧して転写する。使用する色の数だけ版をつくり、それを刷り重ねる。
- エ 防食材を塗った金属板をニードル等でひっかいて防食膜をはがし、はがした部分を腐食させることで凹部をつくる版画である。腐食の時間で凹部の深さを調整し、線や点の強弱をつけることができ、細かい表現が可能である。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | A－エ | B－ウ | C－イ | D－ア |
| 2 | A－ウ | B－ア | C－イ | D－エ |
| 3 | A－イ | B－ア | C－エ | D－ウ |
| 4 | A－ウ | B－イ | C－エ | D－ア |

(2) 次の各文は、さまざまな材料の特性について説明した内容である。誤っているものを 1～4 から一つ選べ。解答番号は

- 1 紙は中国で生まれ、朝鮮を経て7世紀の初めに日本へ伝えられ、コウゾ・ミツマタ・雁皮など日本の伝統的な原料を使い、主に手漉きで作られる和紙が生まれた。和紙は丈夫で独特の手触りがあり、保存性に優れている。
- 2 プラスチック素材として、アクリル板は透明度が高く硬いのが特徴であり、紫外線や雨風など環境変化に強く、屋外での看板や案内パネルとして使用されている。PPシートは半透明で比較的軟らかく、カッターで切ることができる。
- 3 金属には、たたくと広がる延性と、引っ張ると伸びる展性がある。特に銅やアルミニウムなどは軟らかく、細かい表現をするのに向いている。また、たたくと硬くなる性質があるため、焼きなましという方法が用いられている。
- 4 竹は、強靱で弾力性に富み、さまざまな幅や厚みに裂いて編める特性と、素朴で清らかな色調がある。竹工芸に用いられているのは、真竹・女竹・黒竹・寒竹など20種類ほどで、なかでも粘りがあり竹細工に適した真竹がよく利用される。

(3) 大阪府作成の「色覚障がいのある人に配慮した色使いのガイドライン」(平成23年9月30日作成、令和4年4月1日改訂)に記載されているカラーユニバーサルデザインに関する内容について、誤っているものを 1～4 から一つ選べ。解答番号は

- 1 色覚障がいのある人にとっては、明度の高い色に比べて、「灰色と淡い水色」、「灰色と淡い緑」などのような明度の低い色の組み合わせは、識別がより困難になる。
- 2 円グラフなどを描く際に、見分けにくい色を隣接して使う場合は、境界線や地模様などで工夫する。
- 3 同色系の組み合わせや明るい色だけの組み合わせ、暗い色だけの組み合わせはできるだけ避け、明るい色と暗い色を対比させる。
- 4 色だけに頼った情報提供を行うのではなく、色名や文字、記号情報などを併記したり、線の太さや線種などを調整したりして、色がなくても理解できるようデザインすることが重要である。

- (4) 次に示した布に着色する染色方法ア～エと、その説明に関する内容の組み合わせとして適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

14

「染色方法」

ア 友禅染め	イ 有松・鳴海絞り	ウ 更紗染め	エ 紅型
--------	-----------	--------	------

- ① 型附（カタチキ）と呼ばれる糊置防染手法による型染めで、型紙を当てて生地に糊を塗り、そのあとで取り去った型紙の模様の部分に色を差す染め方であり、沖縄の染物で独特な鮮やかさがある。
- ② 職人が布の上に絵を描くように多彩な色で表現する染色方法で、草花など自然の風景を描かれていることが多く、予め布に入れておいた下絵の輪郭に沿ってのりを塗り、防染したあとに筆や刷毛を使って色付けをしていく。
- ③ インドが起源とされている文様染めで、沢山の型紙を使い刷毛で染料をのせながら模様を作りあげていく技法である。異国的な色模様が美しく、現在では着物や帯、ふとん、風呂敷などに使われている。
- ④ 東海道五十三次の一つである宿で旅人が故郷へのお土産にと買い求めたことから繁栄したと言われている。職人が、下絵に合わせて綿糸や絹糸を生地に括りつけるが、糸によって締められた部分には染料が染み込まないため、これを利用して模様を作っている。その括り方は、技法ごとに専門の職人がおり、100種以上の技法・文様が生み出されてきた。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | アー② | イー① | ウー③ | エー④ |
| 2 | アー② | イー④ | ウー③ | エー① |
| 3 | アー④ | イー② | ウー① | エー③ |
| 4 | アー③ | イー④ | ウー② | エー① |

(5) 次のEについて、【 ① 】～【 ④ 】に入る語句の組み合わせとして正しいものを1～4から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：鳥獣人物戯画
世界遺産 嵯峨山 高山寺 公式ホームページ
(kosanji.com)

E

Eは、【 ① 】後期に絵巻物として描かれた国宝である。この作品は全4巻からなり、当時の世相を反映して動物や人物を戯画的に描いたものである。江戸時代の浮世絵や北斎漫画などと同様、日本最古の漫画と称されている。絵巻物は左手で広げ右手で巻き取りながら肩幅半分ずつ見る。右手で巻き取られた部分は【 ② 】になり、左手側に【 ③ 】がある。異なる時間に起きたことを1つの画面に描く【 ④ 】も特徴的である。

	①	②	③	④
1	平安時代	未来	過去	同時展開図法
2	平安時代	過去	未来	異時同図法
3	奈良時代	過去	未来	同時展開図法
4	奈良時代	未来	過去	異時同図法

(6) 大阪の伝統工芸品について、次の問いに答えよ。

次の伝統工芸品 F～I と、その名前、主な素材、技法の組み合わせとして、正しいものを 1～4 から 1 つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
大阪伝統工芸品一覧
大阪伝統工芸品産業振興協議会
(eemon-osaka.com)
大阪伝統工芸品産業振興協議会ホームページ

F

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
大阪伝統工芸品一覧
大阪伝統工芸品産業振興協議会
(eemon-osaka.com)
大阪伝統工芸品産業振興協議会ホームページ

G

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
大阪伝統工芸品一覧
大阪伝統工芸品産業振興協議会
(eemon-osaka.com)
大阪伝統工芸品産業振興協議会ホームページ

H

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
堺打刃物（さかいうちはもの）の特徴や歴史
－ KOGEI JAPAN（コウゲイジャパン）

I

	記号	名前	主な素材	製造工程で使う技法
1	F	和泉櫛	桜	板挽き、歯挽き、歯摺り
2	G	大阪欄間	屋久杉	屋根造り、漆塗り、蒔絵
3	H	大阪張り子	紙	木地張り、胡粉塗り
4	I	堺打刃物	鉄	灰もみ、ボイル加工、火のし

- 3 「光」をテーマにしたさまざまな時代の作品を取り上げ、「光」がもたらす造形的な要素に着目して鑑賞の活動を行うことにした。次に示すア～ウについて、(1)～(2)の問いに答えよ。

(1) 次のア、イについて以下の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。 出典：美術資料 大阪府版 京都市立芸術大学美術教育研究会 秀学社 106ページ	著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。 出典：感じる表す美術 浜島書店編集部 浜島書店 134ページ
ア	イ

- ① ア、イの作者名及び作品名を答えよ。
- ② アとイを比較して、光の表現に着目して鑑賞する際に、生徒に対してどのような説明をするか答えよ。以下の枠内に示した語句をすべて用いて答えること。

バロック	絵の具	モネ
------	-----	----

(2) 次のウに関する文章の空欄に当てはまる語句を答えよ。

私たちが生活する上で光は欠かせないものであり、心理的効果もある。影絵は多くの国で親しまれている光と影による表現であり、紙や皮、木などでつくられた人や動物などに後方から光を当て、その影をスクリーンに投影する。現代ではウのように、コンピューターなどで作成した映像とプロジェクターなどの映写機器を用い、建物や立体的な物体に映像を映し出す技術として、がある。

著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。 出典：https://kyototrip.net/osaka/lights-art/ 2023 大阪 OSAKA トリップ ～観光・イベント・グルメ～
--

ウ

- 4 「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容（第2学年及び第3学年）及び第3 指導計画の作成と内容の取扱い」をふまえ、粘土を使った題材を設定することにした。【表Ⅰ】について、次の（１）～（３）の問いに答えよ。

【表Ⅰ】

時数	題材名	内容のまとめ
8		目的や機能などを考えた表現 「A表現」(1)イ(ウ)(2)「B鑑賞」(1)イ(イ) [共通事項]【つくる活動】

- (1) 次の留意事項をふまえながら【表Ⅰ】の題材名及び題材の概要を解答欄に示せ。

留意事項

- ・題材設定の際には、教科横断的な視点で組み立て、一人一台配付した情報通信ネットワークに接続可能なタブレット端末の効果的な活用を行うこと。
- ・題材の概要には、「生徒の育成をめざす資質・能力」を明確にしたうえで、「何から主題を生み出すのか」等を示しながら学習活動の流れを簡潔に示すこと。

- (2) 学習指導要領において、「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を十分に図り、学習の効果が高まるように指導計画を工夫する必要があるとされている。(1)で示した題材において、鑑賞の学習の指導をどのように工夫するか示せ。

- (3) 本題材において、発想や構想に関する資質・能力及び鑑賞に関する資質・能力を一層高めるために、どのようにして言語活動の充実を図るか示せ。

